

岡山県の農業概要について

【認定及び取組事例】



令和7年7月

中国四国農政局 岡山県拠点

【 も く じ 】

1.	地理的表示（GI）の登録状況	1
2.	6次産業化の取組	2
3.	女性農業者グループ	4
4.	農業委員会における女性登用	5
5.	つなぐ棚田遺産～ふるさとの誇りを未来へ～	6
6.	ディスカバー農山漁村（むら）の宝	7
7.	農泊の取組	8
8.	農福連携の取組	9
9.	環境負荷低減の取組の「見える化」ラベル	11
10.	スマート農業実証プロジェクト	12
11.	スマート農業技術活用促進法に基づく生産方式革新実施計画の認定者	13

1. 地理的表示（GI）の登録状況

平成28年12月7日に「連島ごぼう」が県内で初の登録となったほか、令和6年1月29日に「備前黒皮かぼちゃ」が登録され、県内での登録数は2例目となった。

つらじま ＜連島ごぼう＞



- ①登録者生産団体：晴れの国岡山農業協同組合
- ②主な産地：岡山県倉敷市（水島地域並びに倉敷地域のうち西阿知及び大高）
- ③特定農林水産物等の特性：川砂を主体とした畑で育てられ、肌が白くアクが少ないごぼう。肉質はやわらかで甘みがあり、筋張っていないのが特徴。洗いごぼうとして出荷するため、そのまま調理に使える。
- ④現地との結び付き：高梁川の砂の堆積を利用し、他産地にはない砂地土壌で栽培している。伏流水が豊富にあり、灌水不足にならない立地。中国・四国地方では最大の洗いごぼうの産地。

びぜんくろかわ ＜備前黒皮かぼちゃ＞



- ①登録者生産団体：備前黒皮かぼちゃ振興協議会
- ②主な産地：岡山県瀬戸内市
- ③特定農林水産物等の特性：濃緑色で、縦溝が深く、他の黒皮かぼちゃより、ややこぶが多い外観。果皮・果肉硬度が低く含水率が高いため、煮くずれしにくく滑らかな食感を持つ。近隣の地域にはない在来の日本カボチャとしての伝統及び希少性から、高値で取引されているなど、需要者から高く評価されている。
- ④現地との結び付き：生産地は、丘陵地が海に迫った傾斜地で水はけがよい栽培適地。西洋カボチャの栽培が隆盛になる中、昭和初期に固定された日本カボチャの品種系統を守り、種子を管理・保護し栽培を続けてきた。瀬戸内市牛窓で米・麦の代用食として、地元の黒皮かぼちゃを使った「南瓜雑煮（なんきんぞうに）」が生まれ、岡山県の郷土料理として今に伝わっている。

地理的表示法とは

「特定農林水産物等の名称の保護に関する法律」（地理的表示法）は、特定の産地と品質、社会的評価等の特性の面で結び付きのある農林水産物・食品等の産品の名称（地理的表示）を知的財産として保護し、もって、生産業者の利益の増進と需要者の利益の保護を図ることを目的としています。



2. 6次産業化の取組①

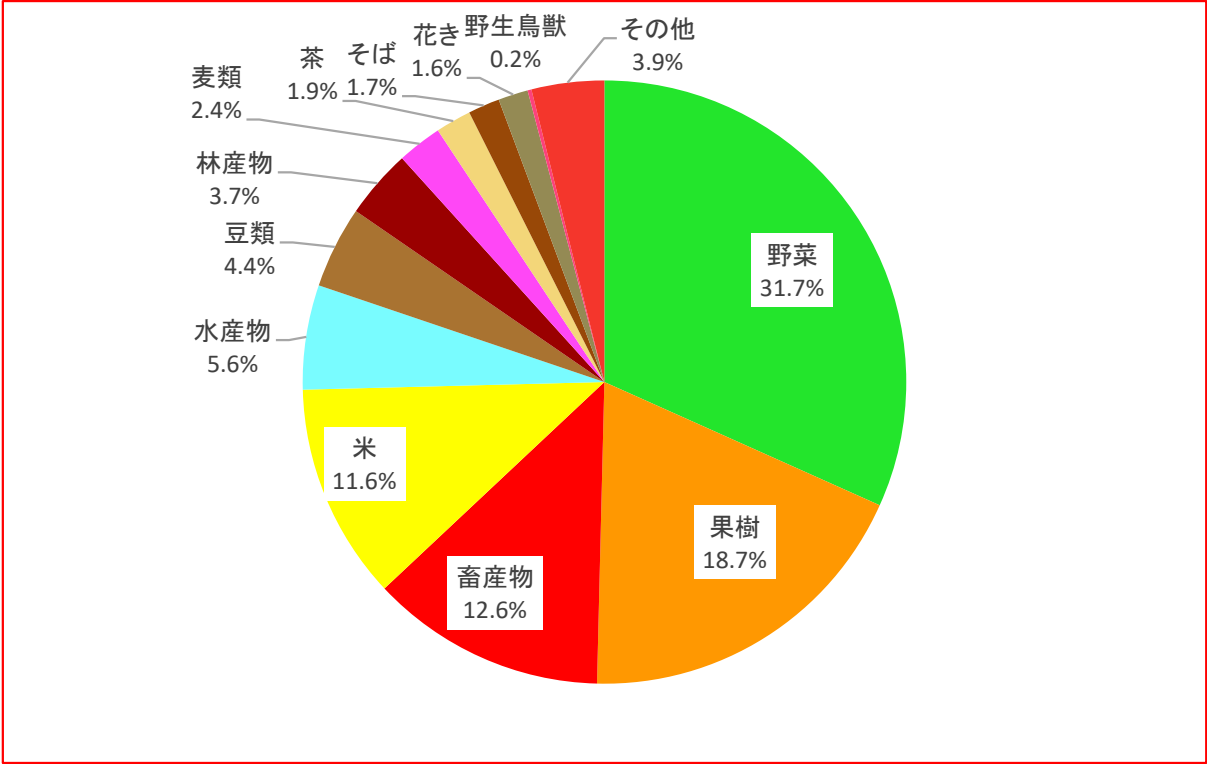
- ・平成23年第1回認定以降、総合化事業計画の認定件数は累増し、令和7年5月31日現在で333件となっている。
- ・県内では101件の認定（うちファンド案件3件）と全体の3割越を占めている。

中国四国地域における事業計画の認定について
（令和7年5月）

県 名	総合化事業計画 認定件数(累計)	研究開発・成果 利用事業計画
鳥 取	23 (1)	
島 根	16 (2)	
岡 山	101 (3)	1
広 島	41 (8)	
山 口	28 (2)	
徳 島	35 (3)	
香 川	24 (1)	
愛 媛	36 (4)	
高 知	29 (0)	
計	333 (24)	1

注1 総合化事業計画認定件数(累計)は、事業実施期間が終了した認定を含む。(ただし、事業を取り止めた認定は除く。)
注2 農林漁業成長産業化ファンドの認定件数は、()書き内数で記載。
注3 研究開発・成果利用事業計画の認定件数は、総合化事業計画認定件数の外数である。

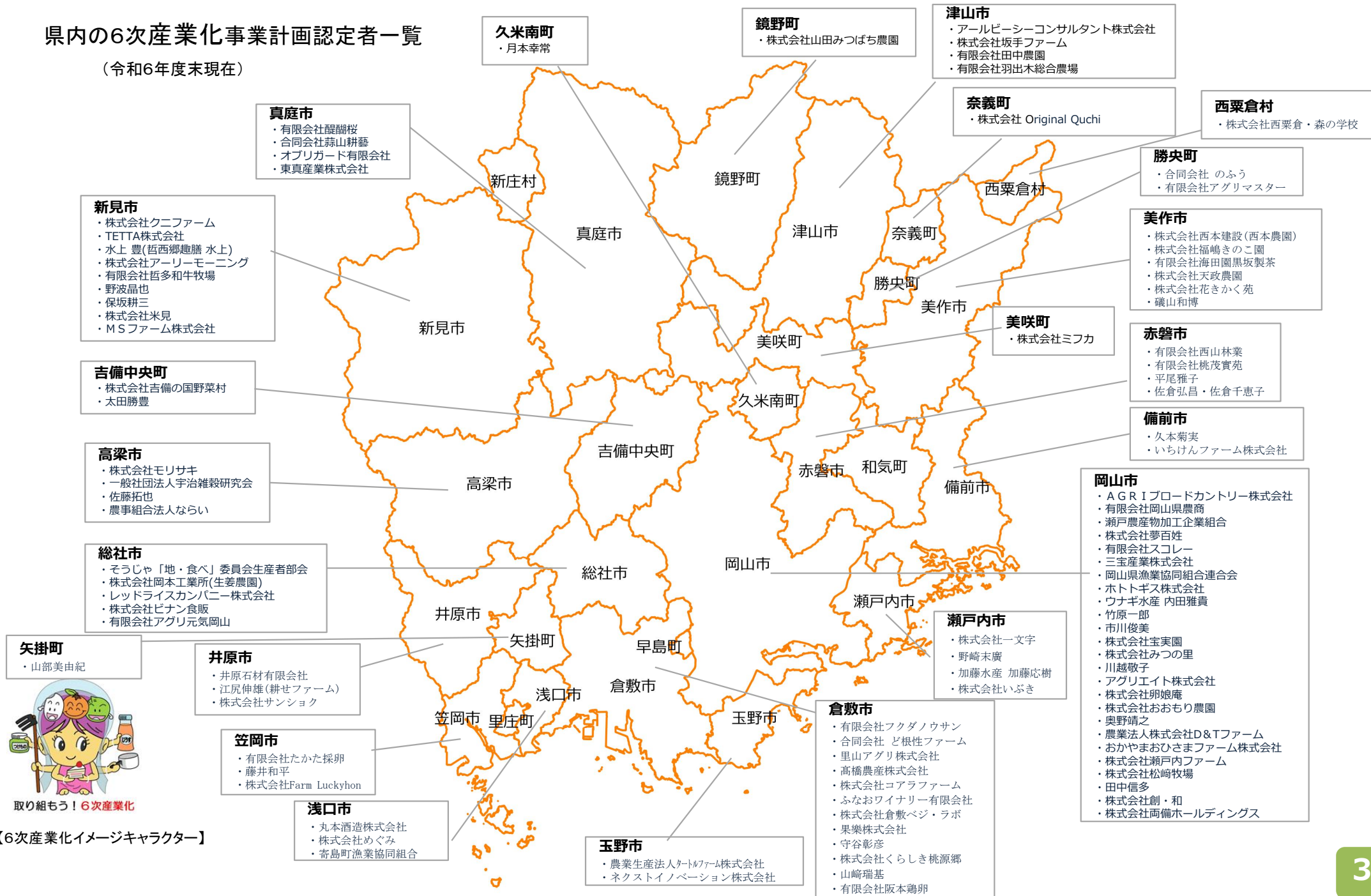
令和7年5月31日までの対象農林水産物の割合(全国)



2. 6次産業化の取組②

県内の6次産業化事業計画認定者一覧

(令和6年度末現在)



取り組もう！6次産業化

【6次産業化イメージキャラクター】

3. 女性農業者グループ

おかやま農業女子とは

- ・農林水産省が進める、農業女子PJ地域版第1号。
- ・農家の跡取り娘、お嫁さん、新規就農者など県内の女性農業者のネットワーク。
- ・企業、異業種、学生などの「新たなつながり」を構築する存在。新しい農業を開拓。
- ・「農業×女性〇〇」のコラボレーションによって「新たな価値」を生み出し、提供・発信。
- ・自身のスキルアップや経営発展、そして結束強化につなげていく。

おかやま農業女子の目的

- ・農業を、もっと「明るく、楽しく、儲かる」ものに変える。
- ・おかやま農業女子の知名度を上げ、ブランド化に繋げる。
- ・おかやの農業女子の産品で、岡山の知名度をあげる。

おかやま農業女子の夢

- ・岡山の農業を、経済を、地域を、もっと元気にしていきたい！
- ・わたしたちの作ったものを、より多くの人たちに、「想い」とともに届けたい！
- ・次世代の農業を担う農業女子(男子も)を育てたい！
- ・全国の農業女子と力を合わせて、農業・農村のイメージを変えたい！



【おかやま農業女子（女性農業者 令和7年3月現在 74名参加）】

おかやま農業女子の構成図



おかやま農業女子の年間作物収穫表

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
じゃがいも												
なす												
きゅうり												
トマト												
にんにく												
唐辛子												
生 姜												
たまねぎ												
小松菜												
トウモロコシ												
ね ぎ												
菊 芋												
赤米・米・イタリア米												
ブルーベリー												
モ モ												
ぶどう												
ミカン・柑橘												
お 茶												
鶏 卵												
牛 乳												

＜おかやま農業女子10周年祭＞



農業女子のブースとボランティア



最後に参加者全員で

お問い合わせ先
中国四国農政局岡山県拠点地方参事官室
tel. 086-899-8610

4. 農業委員会における女性登用

- ・ 県内の農業委員会で政府目標を達成した市町はなく、9市町村で登用「0」。
- ・ ほとんどの市町村は認定農業者を農業委員に任命しているが、女性の認定農業者は少数。
- ・ 岡山県拠点、政府目標の達成に向けて女性の農業委員への登用にに向けた働きかけを推進。

1. 現状

◎ 市町村農業委員数

令和5年10月1日時点

市町村	令和4年度			令和5年度		
	農業委員の総数(人)	うち女性(人)	女性割合	農業委員の総数(人)	うち女性(人)	女性割合
岡山市第一	17	1	5.9%	17	1	5.9%
岡山市第二	10	1	10.0%	10	1	10.0%
倉敷市	23	1	4.3%	24	1	4.2%
津山市	19	3	15.8%	19	1	5.3%
玉野市	9	1	11.1%	9	1	11.1%
笠岡市	13	1	7.7%	13	1	7.7%
井原市	15	5	33.3%	16	4	25.0%
総社市	15	0	0.0%	15	0	0.0%
高梁市	18	2	11.1%	19	2	10.5%
新見市	18	0	0.0%	18	0	0.0%
備前市	14	2	14.3%	14	2	14.3%
瀬戸内市	11	3	27.3%	11	3	27.3%
赤磐市	19	0	0.0%	19	0	0.0%
真庭市	19	2	10.5%	19	1	5.3%
美作市	15	0	0.0%	15	0	0.0%
浅口市	12	1	8.3%	12	1	8.3%
和気町	14	0	0.0%	14	0	0.0%
早島町	10	0	0.0%	10	0	0.0%
里庄町	9	1	11.1%	9	1	11.1%
矢掛町	9	1	11.1%	9	1	11.1%
新庄村	6	1	16.7%	6	1	16.7%
鏡野町	11	1	9.1%	11	2	18.2%
勝央町	11	2	18.2%	11	0	0.0%
奈義町	12	2	16.7%	12	2	16.7%
西粟倉村	12	0	0.0%	12	0	0.0%
久米南町	9	0	0.0%	9	0	0.0%
美咲町	18	1	5.6%	18	1	5.6%
吉備中央町	15	3	20.0%	15	3	20.0%
岡山県	383	35	9.1%	386	30	7.8%

※第5次男女共同参画基本計画の成果目標（農業委員関係） 農業委員に占める女性の割合
・ 女性委員が登用されていない組織数： 「0」（2025年度）
・ 農業委員に占める女性の割合：20%（早期）、更に30%を目指す（2025年度）

2. 現場の声（課題）

- ✓ 農業委員は農地の境界に係る紛争解決等の専門的な知識が必要であることから認定農業者に担ってほしいと考える市町村がほとんど。
 - ✓ 女性の認定農業者の数が限られており、3割の目標達成は困難。
 - ✓ 地域の実情をよく熟知し、発言力がある者が選任されるなか、どうしても男性に偏る。
 - ✓ 現在、女性委員を登用しているが、後任の選出に苦慮。
 - ✓ 責任の重さや、家事育児を理由に敬遠される。
 - ✓ 登用した女性が困惑しないような配慮も必要。
- 【参考】岡山県内の農業経営改善計画認定数（令和6年3月末現在）
2,807件（うち 女性89件、共同申請 264件）
資料：農業経営改善計画の営農類型別認定状況（令和6年3月末現在）

5. つなぐ棚田遺産～ふるさとの誇りを未来へ～

- ・農林水産省は令和4年2月14日、全国から推薦のあった271の棚田を「つなぐ棚田遺産～ふるさとの誇りを未来へ～」として選定。
- ・岡山県内では7か所の棚田が選定されている。

①社棚田

- 所在地
真庭市社
- 面積 56.0ha
- 法面の構造
土羽



②美作市上山の千枚田

- 所在地
美作市上山
- 面積 57.9ha
- 法面の構造
石積みと土羽の複合



③田土の棚田

- 所在地
和気郡和気町田土内
- 面積 約92.0ha
- 法面の構造
石積みと土羽の複合



④上鞆棚田

- 所在地
久米郡久米南町上鞆
- 面積 27.0ha
- 法面の構造
石積みと土羽の複合



⑤北庄棚田

- 所在地
久米郡久米南町北庄
- 面積 79.0ha
- 法面の構造
石積みと土羽の複合



⑥大坪和西の棚田

- 所在地
久米郡美咲町大坪和西
- 面積 49.7ha
- 法面の構造
石積みと土羽の複合



⑦小山の棚田

- 所在地
久米郡美咲町小山
- 面積 4.1ha
- 法面の構造
石積みと土羽の複合



つなぐ棚田遺産 ～ふるさとの誇りを未来へ～

棚田地域の振興に関する取組を積極的に評価し、棚田地域の活性化や棚田の有する多面的な機能に対するより一層の理解の促進を図ることを目的とした取組。

6. ディスカバー農山漁村（むら）の宝

- ・農山漁村の有するポテンシャルを引き出すことによる地域の活性化や所得向上に取り組んでいる優良事例を選定している。
- ・その中で、岡山県においては、これまで10地区が全国選定。

全国選定地区(者)一覧



ディスカバー農山漁村(むら)の宝
(第11回選定) 応募地区 (者) 一覧 (岡山県)

No.	選定地区	部門	市町村	地区名/氏名	該当する取組		
1		団体	岡山市	おかき戦隊瀬戸南じゃ〜 (岡山県立瀬戸南高等学校)	農業	6次産業化	企業との連携
2		団体	岡山市	岡山高等学校コメ作り×エシカル消費プロジェクト	農業	地産地消	学生・若者の活躍
3	地方奨励賞	団体	倉敷市	特定非営利活動法人こうのさと	荒廃農地対策	復興	多様な分野との連携
4		団体	倉敷市	有限会社阪本鶏卵	6次産業化	地産地消	関係人口の創出
5		団体	高梁市	一般社団法人 宇治雑穀研究会	6次産業化	食育・教育	農村環境・景観保全
6		団体	備前市	東鶴山地区を元気にする協議会	教育機関との連携	高齢者の活躍	女性の活躍
7		個人	赤磐市	戸田 洋美	6次産業化	企業との連携	地産地消
8		団体	真庭市	NPO法人真庭あぐりガーデンプロジェクト	農業	6次産業化	高齢者の活躍
9		団体	真庭市	中津井せんだんの会 遺産保存部	伝統の継承	農村環境・景観保全	多様な分野との連携
10		団体	真庭市	吉縁起村協議会	荒廃農地対策	地域のスマート化	その他(中山間地域のデジタル化)
11		団体	美作市	FARM RESORT あわのわ (東栗倉農泊推進協議会)	農泊	関係人口の創出	
12		団体	美作市	美作市農林産物販路開拓会議もちま部会	農業	6次産業化	地産地消
13		団体	西栗倉村	大茅地区活性化協議会	棚田保全	農村環境・景観保全	関係人口の創出
14		団体	吉備中央町	吉備中央町農家民宿推進協議会	農村文化体験	女性の活躍	関係人口の創出

受賞団体のロゴマークについて

「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」（第11回選定）有識者懇談会において、地域の活性化や所得向上に取り組んでいるとして選定された優良事例（全国30事例）

全国の選定事例に準じて、中国四国農政局「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」選定委員会が選定した他地域の参考となる優れた地域活性化の優良事例

地方 中国四国農政局「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」選定に準じて、中国四国農政局各県拠点が選定した奨励賞 今後の活躍が期待される優良事例

7. 農泊の取組

県内では18団体が農山漁村振興交付金による農泊推進の支援に採択され、農泊に取り組んでいる地域があります。（※令和7年3月現在）



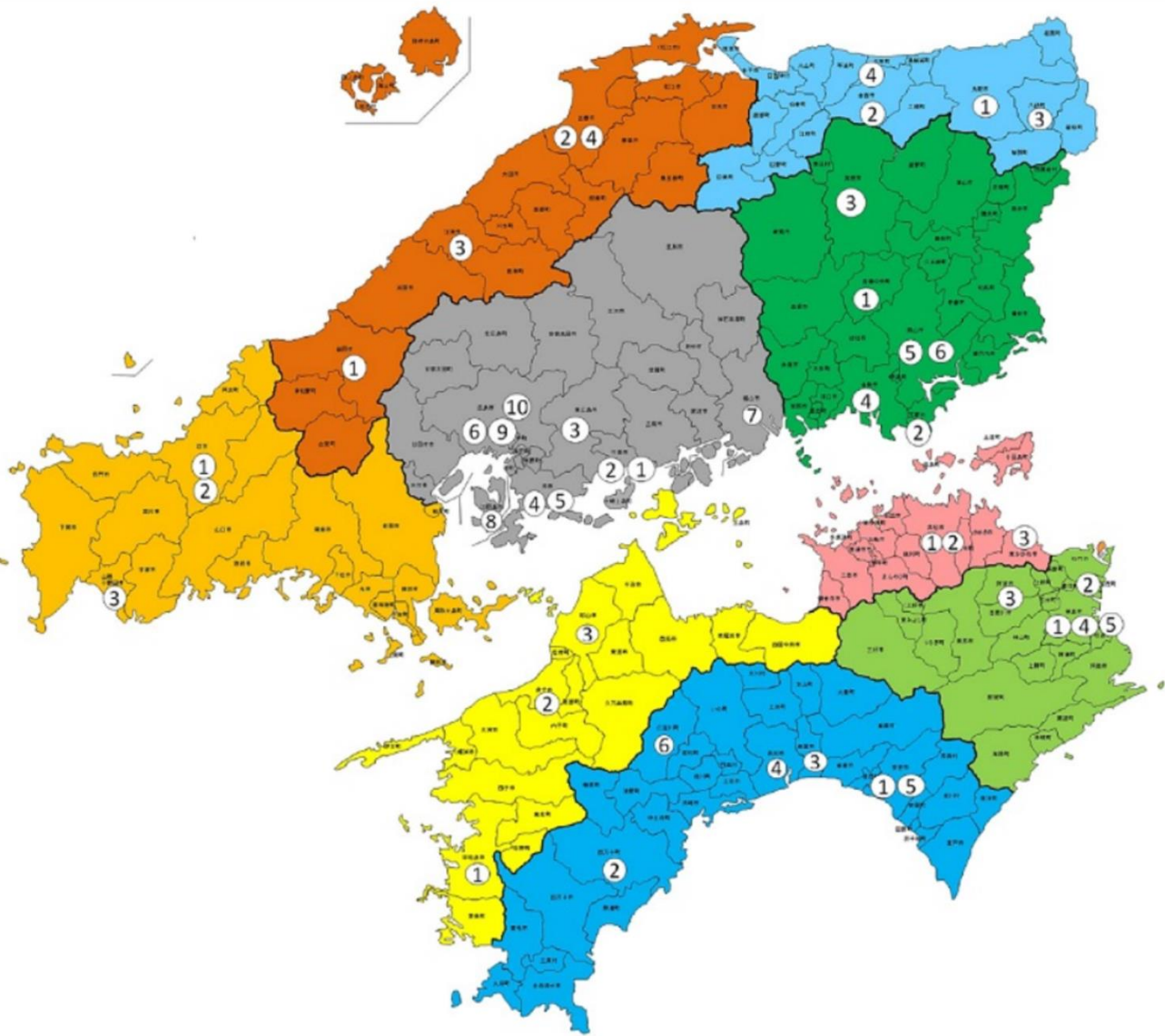
岡山県(18地区)

番号	市町村名	事業実施主体名	主な取組
①	倉敷市	下津井sea village project	朝市夜市・壁画ペイント・移住応援
②	津山市	あば村農泊推進機構	溪流釣り・グランピング
③	津山市	つやま農業生産物ブランド化推進協議会	農家民泊・体験プログラム
④	玉野市	たまの農山漁村魅力向上推進協議会	マリンスポーツ
⑤	笠岡市	白石島農泊推進協議会	国際交流ヴィラ宿泊・カヤック&ウインドサーフィン
⑥	笠岡市	北木島活性化プロジェクト協議会	AIファッションショー
⑦	井原市	アグリ美星リゾート	会員制の宿泊農業体験
⑧	備前市	三国地区農泊振興協議会	国際交流ヴィラ・里山体験
⑨	瀬戸内市	せとうち牛窓玉津農泊推進協議会	農業・自然体験・国際交流
⑩	真庭市	北房農泊推進協議会	真庭イルミネーション・プライダルフェア・ぶり市
⑪	新庄村	SWA地域協議会	グランピング×田舎体験
⑫	美作市	英田上山棚田ツーリズム協議会	棚田の再生活動・子供主導のキャンプ
⑬	美作市	東栗倉農泊推進協議会	体験プログラム・グランピング体験
⑭	矢掛町	一般財団法人矢掛町観光交流推進機構	宿場町古民家ホテル・備中神楽面づくり体験
⑮	鏡野町	健康の町かがみのプロモーション本部	カヌー体験・移住体験ツアー
⑯	久米南町	上初みろく農場協議会	上初棚田瞑想・ヨガ・薬草ツアー
⑰	吉備中央町	吉備中央町農家民宿推進協議会	農家民宿・プチ移住体験 吉備中央 ⑩
⑱	真庭市	国重の森活性化協議会	

「農泊」とは、
農山漁村に宿泊し、滞在中に豊かな地域資源を活用した食事や体験等を楽しむ「農山漁村滞在型旅行」のことです。地域資源を観光コンテンツとして活用し、インバウンドを含む国内外の観光客を農山漁村に呼び込み、地域の所得向上と関係人口創出を図ります。

8. 農福連携の取組①

中国四国農業の障がい者雇用促進情報ネットワーク会員 位置図(希望団体様のみ掲載)



農福連携とは、

障がい者等が農業分野での活躍を通じて自信や生きがいを創出し、社会参画を促すことができる取組み。農業分野においては、障がい者の受入れは働き手の確保だけでなく、障がいに応じて生産工程や作業体系を見直すことで農業生産の拡大や効率化につながる効果が、さらに丁寧な作業等障がい者個々の特長を踏まえることで良質な農産物の生産やブランド化につながる効果も期待できる。

福祉分野においては、就労先の不足や工賃・賃金の向上につながっていくことが期待される

【株式会社おおもり農園】 ノウフク・アワード優秀賞受賞(2023年度)

11 株式会社おおもり農園

視察受入れ：可 報道機関受入れ：可

優秀賞

いちご農業者の生産性向上に寄与と、働きやすい環境を実現し障害者の方へ将来の地域農業の後継者となることのできる農業技術を指導。

基本情報

- 所在地：岡山県岡山市
- 団体名：株式会社おおもり農園NPO法人杜の家
- 選定表彰：—
- 主力商品：いちご・冷凍いちご／香料・着色料不使用のカクテル用シロップ／業務用いちごピューレなど
- 取得認証等：ノウフクJAS（令和3年取得）、認定農業者

取組の概要

- 岡山県岡山市にある株式会社おおもり農園は、平成14年の就農以来、いちご栽培を実施している。平成23年には、NPO法人杜の家及び就労継続支援A型事業所「杜の家ファーム」を設立。現在、障害者約18名の内6名から10名が施設外就労でいちご栽培等を行う。
- いちごは年間作業時間が特に長い作物であり、夫婦二人の作業では限界があったが、育苗から収穫までの期間に障害者の特性に応じた作業を振り分けることで、苗の生産から株の手入れや防除も行うことが可能となり、規模拡張と労働時間の短縮を実現。

体制図

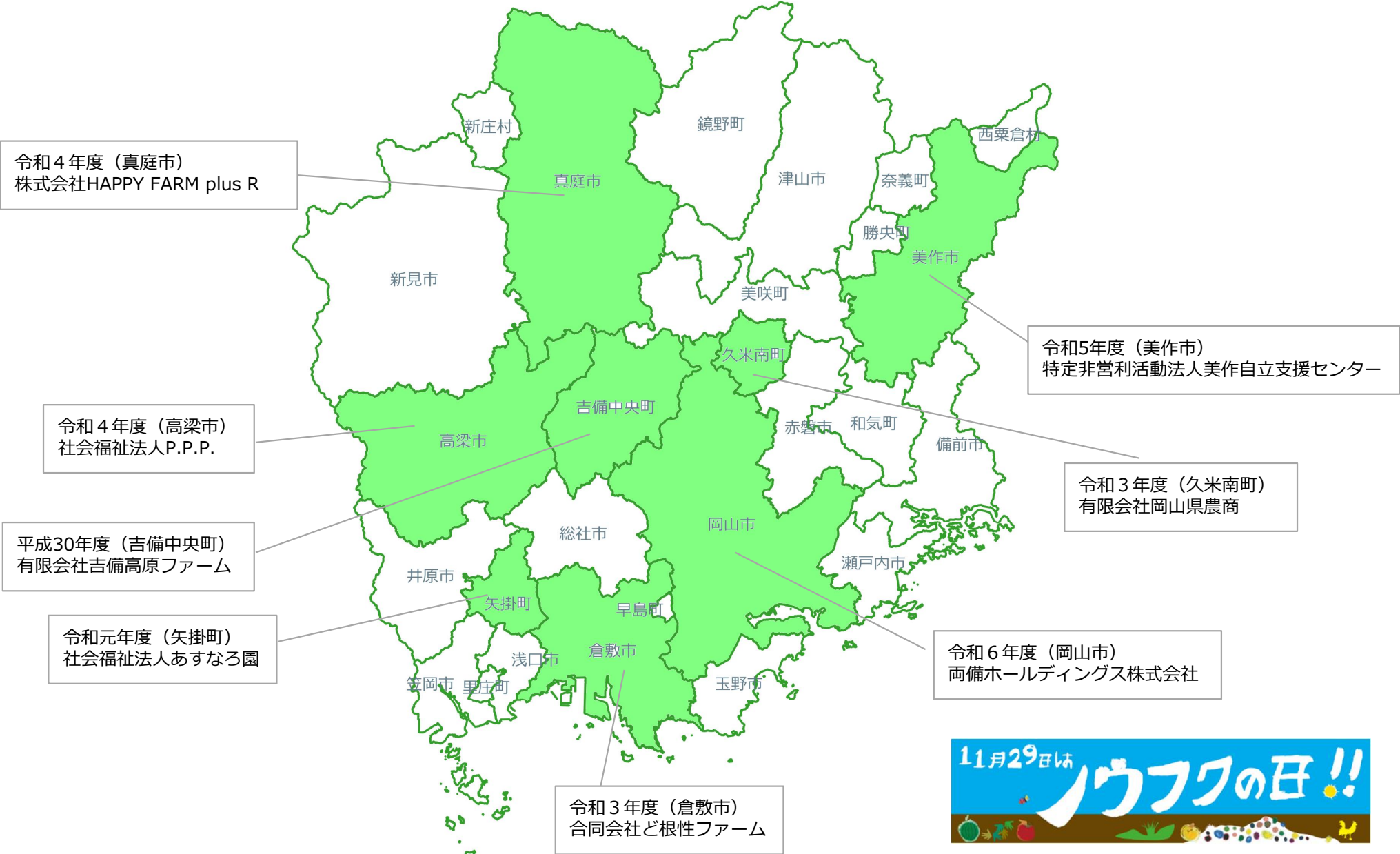
取組の成果

- 自らが障害福祉サービス事業所を設立することで、作業者を安定的に確保できるようになり、作業負担が軽減、休日を取得できるようになった。
- 経験に余裕が生まれた結果、離農した農業者からハウスを引き継ぎ、経営面積が約35aまで増加。
- 作業の見える化によって、異常発生時の問題点が明確になり、指示が障害者に的確に伝わるようになった。
- いちご栽培の安定的な請負とその他の施設外就労との組合せにより、令和4年度の平均賃金月額額は88,000円を超え、県内就労継続支援A型事業所の平均賃金月額（86,271円）を上回る。

所在地：岡山市中区兼基111-1
連絡先：TEL: 086-279-8391 E-mail: info@nptomori.com
ウェブサイト：https://omori-farm.jp/

8. 農福連携の取組②

県内では8団体が農山漁村振興交付金による農福連携の支援に採択され、農福に取り組んでいる地域があります。（※令和7年3月現在）



9. 環境負荷低減の取組の「見える化」ラベル



「みどりの食料システム戦略」に基づき、持続可能な食料システムを構築するため、食料システム全体での環境負荷低減の取組や国民理解の醸成に向けて、環境負荷低減の取組の「見える化」を推進しています。ガイドラインに基づき、「温室効果ガス削減への貢献」や「生物多様性の保全」の取組を分かりやすく等級ラベルで表示することで、生産者の環境負荷低減の努力が消費者に伝わり、農産物を選択できる環境を整えています。

岡山県内では14農業者（団体を含む）で、36品目（重複あり）の環境負荷低減の取組の「見える化」が行われている。
（令和7年3月26日現在）

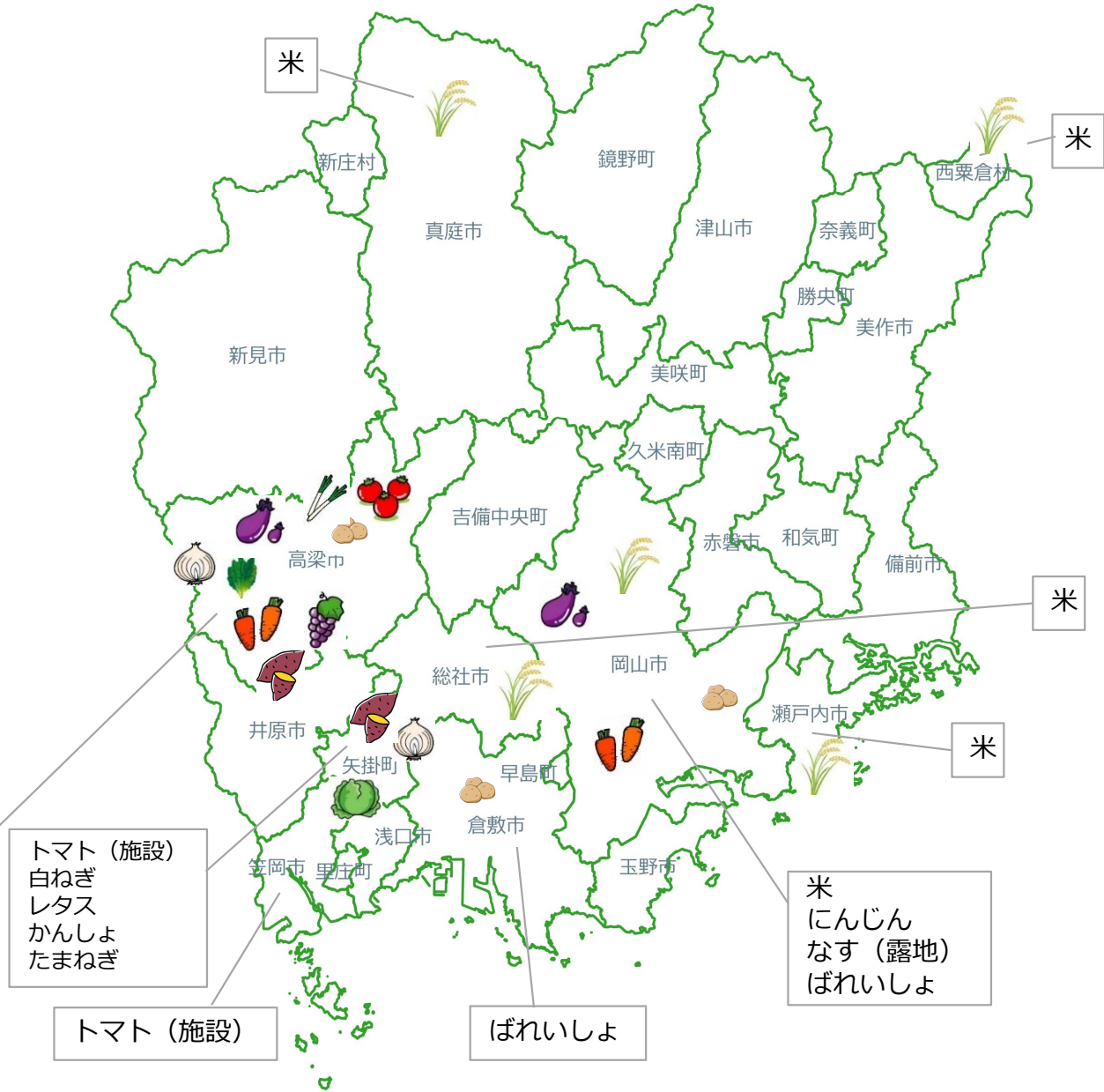
【対象品目】

	露地栽培のみ対象	施設栽培のみ対象	露地栽培も施設栽培も対象
穀物	米		
野菜	ほうれんそう、白ねぎ、たまねぎ、はくさい、キャベツ、レタス、だいこん、にんじん、アスパラガス	ミニトマト、いちご	トマト、きゅうり、なす
果実	りんご、日本なし、もも		温州みかん、ぶどう
いも	ばれいしょ、かんしょ		
その他	茶（荒茶加工されたもの）		



- きゅうり（施設）
- トマト（施設）
- ミニトマト
- なす（露地）
- ほうれんそう
- にんじん
- レタス
- たまねぎ
- 白ねぎ
- だいこん
- ばれいしょ
- かんしょ
- ぶどう（露地、施設）

県内の「見える化」取組状況



10. スマート農業実証プロジェクト

「スマート農業の社会実装を加速するべく、スマート農業技術を実際に生産現場に導入し、技術検証を行うとともに技術の導入による経営の効果を明らかにすることを目的としています。ここでは、令和元年度～令和5年度に採択したスマート農業実証プロジェクトのうち岡山県内の取組を紹介します。

令和元年度採択地区

品目：水稻

実証成果 (株)ファーム安井 (岡山県赤磐市)

実証課題名 中山間地域における水稲栽培の地域営農利便を最大化するスマートアグリシステムの確立
経営概要 39ha(水稲31ha、小麦6ha、大豆2ha) うち実証面積:水稲16ha

導入技術 ①自動運転トラクタ ②直進キープ田植機 ③農業散布ドローン ④水管理システム ⑤ドローンリモートセンシング ⑥衛星リモートセンシング ⑦自動運転・食味・収量コンバイン ⑧リモコン式自走草刈機



目 標 ○水田特性によるほ場のゾーン分けと適正な栽培管理や農機導入による収量増
○収量20%増、収量当たり生産コスト10%削減

1 目標に対する達成状況

○食味・収量コンバイン及び衛星センシング等から得られたデータから、ほ場のゾーン分け(高品質米・業務用米・飼料用米)、施肥設計、水管理システムの活用等により、収量11%増。
○水管理システム等による収量増や、自動運転トラクタ、農業散布ドローン等による労働時間の削減はみられたが、スマート農機の導入経費が増えたため、収量あたり生産コストは約15%増(235円/kg→271円/kg)。

2 導入技術の効果

作業全体の労働時間・軽労化
●スマート農機の導入により、主要作業の10aあたり労働時間が約29%削減。また、オペレータの負担は大幅に軽減。

項目	導入前	導入後	変化率
直進キープ田植機(10aあたり)	0.32時間	0.23時間	△0.09時間
農業散布ドローン	0.45時間	0.30時間	△0.15時間
自動運転コンバイン	0.40時間	0.31時間	△0.09時間
衛星散布ドローン	0.47時間	0.30時間	△0.17時間
合計(10aあたり)	2.64時間	1.90時間	△0.74時間

ゾーン
●前年度の食味・収量データ等によるセンシングデータや土壌分析結果に基づいて、高品質米、業務用米、飼料用米にゾーン分けし、ほ場毎に施肥計画を策定。

ゾーン	収量(kg/10a)	タンパク含有率(%)	R2乗相関係数	品質向上率
高品質米	4500以上	6.50以上	0.42(2.9→6.0)	28%
業務用米	4500~5700	6.5~7.0	6.0(4.8→7.3)	0%
飼料用米	5700以上	—	7.7(5.9→9.1)	△25%

※収量相関係数の各ゾーンの平均値(最小値～最大値)

3 事業終了後の普及のための取組

○センシングや食味・収量コンバイン等の毎年のデータに基づく施肥量の見直しや適期作業による収量・品質の向上を図るとともに、スマート農機の利用面積を拡大(15ha→30ha)することで稼働率を上げ、コスト低減に繋げる。
○当該証農場をスマート農業普及農場と位置づけ、様々な担い手農家等への各種研修会で活用を図ること、また、各種学校のスマート農業を学ぶ場として活用や就農希望者への情報提供を行うことでスマート農業の普及に努める。

問い合わせ先 岡山県農林水産総合センター 普及連携部普及推進課 (e-mail:nousou-fukyu@pref.okayama.lg.jp)

品目：水稻、小麦

実証成果 (農) 寄江原 (岡山県真庭市)

実証課題名 集落営農法人による持続可能な中山間地域営農体系の実証
経営概要 16.9ha(水稲4.2ha、小麦3.1ha、しきみ0.3ha、作業受託9.3ha)
実証面積16.9ha、シェアリング29.5ha

導入技術 ①自動運転トラクタ ②直進キープ田植機 ③ほ場水管理システム ④ラジコン草刈機 ⑤ドローン(防除・施肥・センシング) ⑥食味・収量コンバイン ⑦シェアリング



目 標 労働時間26%削減、収量13%向上、シェアリングによる農機の稼働率向上

1 目標に対する達成状況

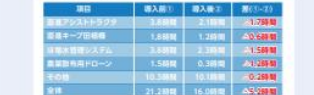
○直進キープ田植機、ドローン(防除)、ほ場水管理システム等により、水稲主要作業の労働時間が約24%削減(21.2時間/10a→16.0時間/10a)。
○食味・収量コンバインのデータを活用した施肥設計やほ場水管理システムによる適正な水管理等により、収量は約9%向上(480kg/10a→522kg/10a)。

2 導入技術の効果

収量・品質の向上
●食味・収量コンバインのデータを活用した精密施肥設計により、平均収量が慣行から9%上昇、タンパク含有率0.5ポイント低下。



稼働率の向上
●稼働率が低い地域で田植機、コンバインの共同利用を行った結果、稼働率が2倍に向上し、10aあたり減価償却費が49%低下した。



3 事業終了後の普及のための取組

○(農)寄江原(「実証地」)から「展示農場」に位置づけ、スマート農業の体験研修の場所として様々な担い手農家へ提供
○真庭市「真庭スマート農業塾」を予備化、真庭地域の水稲農家へスマート農業を広くPRし、技術の導入を推進。
○担い手農家やJ・A、機械メーカーへ田植機やコンバイン、さらにラジコン草刈機やドローンのシェアリングについて提案していく。

問い合わせ先 岡山県農林水産総合センター 普及連携部普及推進課 (e-mail:nousou-fukyu@pref.okayama.lg.jp)

令和2年度採択地区

品目：キャベツ、タマネギ、かぼちゃ

実証成果 (有) エーアンドエス (岡山県笠岡市)

実証課題名 加工・業務用野菜の省力・精密化で国内需要に応えるスマート農業一貫体系の確立
経営概要 72ha(キャベツ44ha、タマネギ26ha、カボチャ2ha)すべて実証面積

導入技術 ①堆肥発酵温度モニタリング ②キャベツスーパーセル育苗苗・利用技術 ③ロボットトラクタ利用体系 ④キャベツ高速高精度移植 ⑤ドローン防除 ⑥キャベツ選果補助装置の利用による農福連携ほか

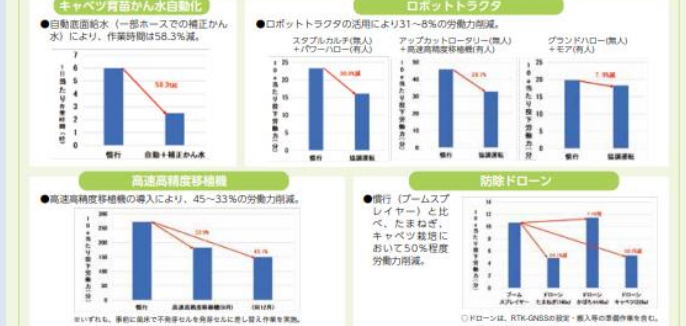


目 標 ○単位面積当たり労働時間 キャベツ3割削減、タマネギ2割削減
○単位面積当たり収量 キャベツ3割向上、タマネギ2割向上

1 目標に対する達成状況

○育苗かん水の自動化により1日当たり作業時間が約58%削減した(6時間/日→2.5時間/日)。
○ロボットトラクタを近距離監視する有人機と協調作業し、投下労働力の削減は図られたが、実証面積や作業機の組合せによっては、目標(30%削減)は未達成であった。
○直進キープトラクタに直装したキャベツ4条移植機で、慣行の「カラス口式」移植機に対して投下労働力が約3～4割削減できた。
○防除ドローンで、慣行のブームスプレーヤーより投下労働力が防除面積が1.6ha以上では50%以上削減できたが、0.5ha未満では設定等の準備時間が多く掛かるため、慣行より増加した。

2 導入技術の効果



3 事業終了後の普及のための取組

○スマート農機の普及については、価格が高いため負担率の低減のためシェアリングなどを一層支援する。
○育苗省力化について、底面給水による育苗方法の導入を一層推進する。

問い合わせ先 笠岡スマート農業コンソーシアム (電話:0865-69-1653)

11. スマート農業技術活用促進法に基づく生産方式革新実施計画の認定者

農業の生産性の向上のためのスマート農業技術の活用の促進に関する法律（令和6年法律第63号）（以下「スマート農業技術活用促進法」という。）に基づき、事業者から申請された生産方式革新実施計画の認定者。岡山県内は3事業者（令和7年3月末現在）。

（認定）生産方式革新実施計画の概要

中四
エリア

ドロー
ン

生産
管理

生産方式革新実施計画の概要

2025年3月21日認定

栽培管理システムのデータを複数の生産者と共有。サービス事業者も活用し、データに基づくドローンの適期作業等で収益性アップ

申請者：
【代表者】小野 善久（岡山県総社市）
別府 亨（岡山県総社市）
永田 隆志（岡山県総社市）
促進事業者：
【サービス事業者】オノファクトリー（岡山県総社市）
対象品目：
水稲
スマート農業技術：
① 農業用ドローン
② 栽培管理システム
新たな生産方式：
① 直播適性品種の導入など直播栽培体系の導入
② 栽培管理システムで取得したデータの他の生産者との共有を通じたほ場ごとの適正施肥等の実施

【代表者】小野 善久

労働生産性の向上

農業用ドローン

直播、適期防除、適正施肥

+

直播栽培体系の導入

ドローンの播種作業への活用

品質・収量の向上

栽培管理システム

+

データ共有・分析

別府 亨

直播栽培体系の導入

ドローンの播種作業への活用

直播、適期防除、適正施肥（作業受託）

【サービス事業者】オノファクトリー

中四
エリア

収量
コバイン

生産方式革新実施計画の概要

2025年3月21日認定

収量計測機能付きコンバインのデータ利用による収量の向上と、その稼働面積を拡大する作期の異なる品種の導入で収益性アップ

申請者：
定廣 武志（岡山県岡山市北区）
対象品目：
水稲
スマート農業技術：
収量計測機能付きコンバイン
新たな生産方式：
作期の異なる品種の導入を通じた作業期間の延長によるスマート農業機械の稼働面積の向上

定廣 武志

収量の向上

収量計測機能付きコンバイン

収量データに基づく肥培管理の実施

+

作期の異なる品種の導入

作業期間の延長
機械稼働面積の向上

中四
エリア

中山
間地

ドロー
ン

生産方式革新実施計画の概要

2025年3月21日認定

播種作業への農業用ドローンの利用と併せた直播体系の導入で収益性アップ

申請者：
有限会社 山室組（岡山県井原市）
対象品目：
水稲
スマート農業技術：
農業用ドローン
新たな生産方式：
直播栽培体系の導入

有限会社 山室組

労働生産性の向上

農業用ドローン

+

直播栽培体系の導入

収量センサ付きコンバイン

直播ドローン

13